

史：高齢者における知能と抑うつとの相互関係—交差遅延効果モデルの検討—. 日本心理学会第 76 回大会、川崎、2012 年 9 月 11 日.

21) 李成喆, 幸篤武, 金興烈, 小坂井留美, 西田裕紀子, 丹下智香子, 安藤富士子, 下方浩史：地域在住中高齢者の体力が認知機能に及ぼす影響に関する縦断的研究、第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 14 日.

22) 金興烈, 李成喆, 幸篤武, 小坂井留美, 安藤富士子, 下方浩史：中高齢者の歩幅と歩調に影響を与える関連要因. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 15 日.

23) 小坂井留美, 安藤富士子, 金興烈, 李成喆, 幸篤武, 下方浩史：運動経験のない中高年者における運動習慣開始の要因. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 14 日.

24) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 下方浩史：ロコモティブシンドロームチェック項目と SF36 身体機能との関連. 第 14 回日本骨粗鬆症学会、新潟、2012 年 9 月 29 日

25) 下方浩史, 安藤富士子：かくれ肥満は生活習慣病のリスクとなるか—8 万人での 10 年間の大規模縦断研究. 第 33 回日本肥満学会、京都、2012 年 10 月 12 日.

26) 下方浩史, 健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究、特別講演、第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 27 日.

27) 安藤富士子, 大塚礼, 北村伊都子, 甲田道子, 下方浩史：「かくれメタボ」の日本人有所見者数の推計-無作為抽出地域住民コホート NILS-LSA から. 第 33 回日本肥満学会、京都、2012 年 10 月 11 日.

28) 丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史：成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響. 第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 27 日.

29) 堀川千賀, 大塚礼, 加藤友紀, 河島洋, 柴田浩志, 安藤富士子, 下方浩史：トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴～地域在住の中高年男女における検討～ 第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 28 日.

30) 青山満喜, 鈴木裕介, 葛谷雅文. 地域在住高齢者の頻回転倒を予測する因子の検討. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日～30 日 (土) 東京国際フォーラム

31) 岡田希和子, 伊藤ゆい, 白石成明, 長谷川潤, 梅垣宏行, 鈴木裕介, 葛谷雅文. サルコペニア診断基準とリスク要因の検討. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木)～30 日 (土) 東京国際フォーラム

32) 井澤幸子, 広瀬貴久, 長谷川潤, 榎裕美, 葛谷雅文. 特別養護老人ホーム入所高齢者の前向き研究 MNA-SF を使用した栄養状態の変動に関与する因子について. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木)～30 日 (土) 東京国際フォーラム

33) 白石成明, 岡田希和子, 長谷川潤, 梅垣宏行, 鈴木裕介, 葛谷雅文. 地域在住高齢者のサルコペニアと身体計測及び生活・運動機能の関係について. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 東京国際フォーラム

34) 小島太郎, 秋下雅弘, 荒井秀典, 神崎恒一, 葛谷雅文, 江頭正人, 荒井啓行, 高橋龍太郎, 江澤和彦, 鳥羽研二. 高齢者医療の優先順位に関する意識調査(続報) 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 東京国際フォーラム

35) 榎裕美, 長谷川潤, 広瀬貴久, 井澤幸子, 井口昭久, 葛谷雅文. 要介護高齢者の体重減少の要因分析. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 東京国際フォーラム

36) 広瀬貴久, 長谷川潤, 井澤幸子, 榎裕美, 葛谷雅文. 介護高齢者の性別と老年症候群との関連について. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 東京国際フォーラム

37) 梅垣宏行, 野々垣禪, 葛谷雅文, 井口昭久. コリンエステラーゼ阻害薬の自律神経系への影響の基礎的検討. 第 54 回日本老年医学会 6 月 28 日 (木) ~30 日 (土) 東京国際フォーラム

38) 大菅陽子, 吉田正貴, 安藤富士子, 下方浩史: 頸動脈超音波検査は 4 年後の夜間頻尿を予測できるか. 第 101 回日本泌尿器科学会

総会、札幌、2013 年 4 月 25 日.

39) 大菅陽子, 吉田正貴, 下方浩史, 安藤富士子: メタボリック症候群構成要素が下部尿路症状 (LUTS) の発生に与える影響についての検討—4 年間の縦断的研究—. 第 26 回日本老年泌尿器科学会、横浜、2013 年 5 月 17 日.

40) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 石黒直樹, 安藤富士子, 下方浩史: ロコモチェックの陽性項目による意義・有用性の検討—陽性高頻度 3 項目の運動機能評価の比較—. 第 86 回日本整形外科学会学術総会、広島、2013 年 5 月 24 日.

41) 竹村真里枝, 松井康素, 原田敦, 石黒直樹, 安藤富士子, 下方浩史: 一般地域住民におけるロコモティブシンドロームの疫学的検討. 第 86 回日本整形外科学会学術総会、広島、2013 年 5 月 24 日.

42) 大塚礼, 下方浩史: 中高年者の多価不飽和脂肪酸摂取と知能・認知機能に関する長期縦断疫学研究. 第 67 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋、2013 年 5 月 26 日.

43) 安藤富士子, 西田裕紀子, 丹下智香子, 加藤友紀, 大塚礼, 下方浩史: 知能の加齢変化における喫煙とカロテノイドの交互作用—8 年間の縦断データの解析—. 第 55 回日本老年医学会学術集会、大阪、2013 年 6 月 5 日.

44) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 下方浩史: 高齢者運動機能評価法としてのロコモティブシンドロームチェック項目

(ロコチェック)の有用性の検討. 第 55 回日本老年医学会学術集会、大阪、2013 年 6 月 5 日.

45) 大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史: 60 歳以上男女での血清 DHA, EPA 濃度と 10 年後の認知機能低下との関連. 第 55 回日本老年医学会学術集会、大阪、2013 年 6 月 5 日.

46) 佐竹昭介、下方浩史、千田一嘉、近藤和泉、鳥羽研二: 基本チェックリストの質問領域と健康障害発生の関連性. 第 55 回日本老年医学会学術集会、大阪、2013 年 6 月 5 日.

47) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、下方浩史: 成人中・後期における「死」に関する思索経験の縦断的検討. 第 55 回日本老年社会科学大会、大阪、2013 年 6 月 6 日.

48) Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H: Effects of Knee Extensor Muscle Strength on the Incidence of Osteopenia and Osteoporosis after Six Years. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 27, 2013.

49) Satake S, Shimokata H, Senda K, Kondo I, Toba K: The predictive validity of the Kihon Checklist for identifying frailty in a community-dwelling older population. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 27, 2013.

50) Ando F, Nishita Y, Tange C, Otsuka R, Kato Y, Imai T, Shimokata H: The Effects of Carotenoid Intakes on Intelligence in Community-dwelling Japanese Middle-aged and Elderly. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 25, 2013.

51) Lee S, Yuki A, Kozakai R, Nishita Y, Tange C, Kim H, Ando F, Shimokata H: The Relationship between Light-Intensity Physical Activity and Cognitive Function in a Community-Dwelling Elderly Population: An 8-year longitudinal study. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 25, 2013.

52) Shimokata H, Ando F, Kuzuya M: Hidden obesity and risk of life-style related disease in the elderly Japanese. The 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. Seol, June 26, 2013.

53) 大塚礼、加藤友紀、安藤富士子、下方浩史: 血清 DHA、EPA 濃度に対する性、年齢、生活習慣等の影響 ~中高齢男女における検討~. 第 49 回日本循環器病管理予防学会、金沢、2013 年 6 月 14 日.

54) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、幸篤武、大塚礼、安藤富士子、下方浩史: 地域在住中高齢者における膝関節変形と身体組成との関連. 第 5 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、札幌、2013 年 6 月 21 日.

55) Uchida Y, Sugiura S, Yasue M, Ando F, Nakashima T, Shimokata H: The association between hearing loss and polymorphisms of genes encoding inflammatory mediators in Japanese aged population. The 20th IFOS World Congress, Seoul, June 3, 2013.

56) Yuki A, Otsuka R, Kozakai R, Ando F, Shimokata H: Low free testosterone levels are associated with loss of appendicular muscle mass in Japanese community-dwelling women. The 18th annual Congress of the ECSS, Barcelona, June 29, 2013.

57) Kozakai R, Ando F, Kim HY, Lee SC, Yuki A, Shimokata H: Factors leading to regular exercise in community-living middle-aged and older people without regular exercise experience. The 18th annual Congress of the ECSS, Barcelona, June 29, 2013.

58) 堀川千賀、大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：血中必須脂肪酸と短期記憶に関する大規模地域住民での縦断的研究。第9回必須脂肪酸と健康研究会。大阪、2013年8月2日。

59) 安藤富士子、加藤友紀、今井具子、大塚礼、下方浩史：カロテノイド摂取が知能の加齢変化に及ぼす影響－地域在住中高年者を対象とした8年間の縦断研究－。第60回日本栄養改善学会学術総会、神戸、2013年9月14日。

60) 幸篤武、安藤富士子、小坂井留美、大塚礼、下方浩史：アンドロゲン受容体遺伝子多型とテストステロンの相互作用が中高齢男性の筋量に与える影響。第68回日本体力医学会大会、東京、2013年9月21日

61) 小坂井留美、安藤富士子、金興烈、幸篤武、大塚礼、下方浩史：中高年期における握力の縦断変化の性差。第68回日本体力医学会大会、東京、2013年9月22日。

62) 今井具子、大塚礼、加藤友紀、安藤富士子、下方浩史：経時的に見た地域在住中高年者の栄養補助食品利用状況。第60回日本栄養改善学会学術総会、神戸、2013年9月14日。

63) 富田真紀子、西田裕紀子、丹下智香子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：中高年者のワーク・ファミリー・バランスと心理的well-beingの関連。日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月20日。

64) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：高齢者における知能と認知的余暇活動の相互関係。日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月20日。

65) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：成人中・後期における「死に対する態度」の縦断的検討。日本心理学会第77回大会、札幌、2013年9月19日。

66) Shimokata H: A longitudinal study of frailty and aging in Japan. Symposium: Frailty in the older people: dynamic perspectives. The 9th Congress of the European Union Geriatric Medicine Society, Venice, Italy, October 4, 2013.

67) 下方浩史：高齢社会の現状と問題点。プレナリーセッション耳鼻咽喉科医と高齢社会。第 27 回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会、名古屋、2013 年 11 月 16 日。

68) 大菅陽子、吉田正貴、下方浩史、大塚礼、安藤富士子：地域在住の中高齢者における総身体活動量と 4 年後の夜間頻尿発生との関連についての検討。第 63 回日本泌尿器科学会中部総会、名古屋、2013 年 11 月 29 日。

69) 加藤友紀、大塚礼、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者のプロリン摂取量が知能に及ぼす影響に関する縦断的研究。第 20 回日本未病システム学会学術総会、東京、2013 年 11 月 10 日。

70) 下方浩史：夢を語り、夢を目指して生きる—健康長寿の秘訣。第 22 回トータルライフ医療学術集会、東京、2013 年 12 月 14 日。

71) Lina Hu, Xian Wu Cheng, Haiying Jiang, Aiko Inoue, Song Haizhen, Changning Hao, Hongxian Wu, Kenji Okumura, Toyook Murohara, Masafumi Kuzuya. Exercise Enhances Statin-Mediated Vascular Protective Effects in

Advanced Age. 第 45 回日本動脈硬化学会学術集会 平成 25 年 7 月 19 日 東京

72) 岡田 希和子, 伊藤 ゆい, 白石 成明, 長谷川 潤, 梅垣 宏行, 鈴木 裕介, 葛谷 雅文. 高齢者における包括的栄養評価と骨格筋指数との関連. 第 55 回日本老年医学会学術集会 大阪 平成 25 年 6 月 26 日

73) 青山 満喜, 鈴木 裕介, 白石 成明, 葛谷 雅文. サルコペニア診断アルゴリズムの評価項目と「基本チェックリスト」項目の関連. 第 55 回日本老年医学会学術集会 大阪 平成 25 年 6 月 26 日

74) 葛谷 雅文, 岡田 希和子, 伊藤 ゆい, 白石 成明, 梅垣 宏行, 鈴木 裕介, 長谷川 潤. サルコペニアに関連する主観的・客観的症候. 第 55 回日本老年医学会学術集会 大阪 平成 25 年 6 月 26 日

75) 竹村真里枝、松井康素、原田敦、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者における椎体骨折の疫学的検討。第 87 回日本整形外科学会学術総会、神戸、2014 年 5 月 22 日。

76) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、幸篤武、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：膝関節痛と脂肪量・筋量との関連—一般地域住民を対象とした性別・変形程度別の検討。第 87 回日本整形外科学会学術総会、神戸、2014 年 5 月 22 日。

77) 笠井健広、松井康素、竹村真里枝、原田敦、幸篤武、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：Mid-thigh CT による大腿筋量測定と筋肉の

質の評価. 第 87 回日本整形外科学会学術総会、神戸、2014 年 5 月 25 日.

78) 安藤富士子、西田裕紀子、丹下智香子、大塚礼、下方浩史：地域在住高齢者における認知症発症予測のための健診項目の検討. 第 56 回日本老年医学会学術集会、福岡、2014 年 6 月 12 日.

79) 大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢男女における食品摂取と 10 年後の認知機能との関連. 第 56 回日本老年医学会学術集会、福岡、2014 年 6 月 12 日.

80) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：中高年期における「死に対する態度」の加齢変化と性の効果. 第 56 回日本老年医学会学術集会、福岡、2014 年 6 月 13 日.

81) 内田育恵、杉浦彩子、西田裕紀子、丹下智香子、中島務、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：12 年間の縦断データ解析による高齢期難聴の知的機能への影響. 第 56 回日本老年医学会学術集会、福岡、2014 年 6 月 14 日.

82) 下方浩史：特別講演. 超高齢者医療の重要性. 第 59 回日本透析医学会、神戸、2014 年 6 月 15 日.

83) Shimokata H: Age-related changes in skeletal muscle mass among community-welling Japanese – a 12-year longitudinal study. Asian Conference on Sarcopenia Research, Taipei, June 2014.

84) Shimokata H: Nutrition and Healthy Aging. Aging Dialog between Switzerland and Japan. Tokyo, June 30, 2014.

85) Fukuoka H, Tange C, Yamanaka Y, Otsuka R, Ando F, Shimokata H: Sex- and age-based NEI VFQ-25 for middle-aged and older Japanese population. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2014 Annual Meeting. Orlando, May 4, 2014.

86) 塚崎晃士、松井康素、竹村真里枝、原田敦、中本真理子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：大腿中央部 CT を用いた筋肉の量と質の評価 第 40 回名古屋大学医学部整形外科学教室研究報告会. 名古屋、2014 年 6 月 28 日.

87) 福岡秀記、丹下智香子、山中行人、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者における内部乱視の大きさ・種類の性・年代に関する検討. 第 29 回日本白内障屈折矯正手術学会学術総会、福岡、2014 年 7 月 12 日.

88) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、幸篤武、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：女性における膝関節痛の有無および既往と脂肪量・筋量との関連. 第 6 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、広島、2014 年 7 月 24 日.

89) Imai T, Otsuka R, Kato Y, Ando F, Shimokata H: A Longitudinal Study of Dietary Supplement Use in

Community-living Middle Age and Elderly Japanese. The 20th International Epidemiology Association World Congress of Epidemiology, Anchorage, Aug 18, 2014.

90) Ando F, Nishita Y, Tange C, Otsuka R, Shimokata H: Asymptomatic Cerebral White Matter Lesions Predict Future Cognitive Decline in Japanese Elderly. The 20th International Epidemiology Association World Congress of Epidemiology, Anchorage, Aug 19, 2014.

91) 幸篤武、安藤富士子、大塚礼、下方浩史：中高年齢における日常歩行量と全がん死亡との関連。第69回日本体力医学会大会、長崎市、2014年9月20日。

92) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：APOE 遺伝子型が知能の加齢変化に及ぼす影響。日本心理学会第78回大会、京都市、2014年9月10日。

93) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：成人中・後期の死に対する態度へのライフイベントの影響。日本心理学会第78回大会、京都市、2014年9月10日。

94) 下方浩史：地域住民におけるサルコペニア・フレイルの長期縦断疫学研究。シンポジウム『超高齢社会におけるサルコペニア・フレイルの疫学』。第25回日本老年医学会東海地方会、名古屋、2014年10月4日。

95) 下方浩史：日本人高齢者の栄養と健康維持。WKC フォーラム 高齢者のためのイノベーション～アドヒアランス向上のために：薬剤治療と食事療法～。神戸、2014年10月1日。

96) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：中高年期における14年後の日常生活活動能力への心的発達要因の影響。第21回日本未病システム学会学術総会、大阪、2014年11月2日。

97) 野坂咲耶、光岡佑奈、高井なつみ、今井具子、加藤友紀、大塚礼、安藤富士子、下方浩史：写真挿入料理データベースを用いたiPhone・iPad 対応アプリの開発と有用性の検討。第21回日本未病システム学会学術総会、大阪、2014年11月2日。

98) Uchida Y, Sugiura S, Nakashima T, Ueda H, Otsuka R, Ando F, Shimokata H: Vascular endothelial growth factor polymorphisms and hearing impairment in Japanese aged population. Inner Ear Biology Workshop 2014, Kyoto, Nov 3, 2014.

99) Sugiura S, Nakashima T, Yasue M, Uchida Y, Otsuka R, Ando F, Shimokata H: A population-based cohort study of tinnitus in Japan Inner Ear Biology Workshop 2014, Kyoto, Nov 3, 2014.

100) 大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢者における牛乳摂取と13年間の脳萎縮進行の有無に関する検討。第73

回日本公衆衛生学会総会、宇都宮、2014年11月7日。

101) 下方浩史：高齢社会と健康長寿～老いてこそ挑め。特別講演。第67回広島医学会総会。広島、2014年11月9日。

102) 下方浩史：栄養と健康長寿。日本食品科学工学会関西支部大46回シンポジウム—超高齢者会を支える食の多面的機能～生き活きと暮らすために。大阪、2014年11月28日。

103) K. Ina, T. Hayashi, M. Kuzuya: Metabolic predictors of cardiovascular events in diabetic individuals: 5.5-year survey of cardiovascular events. ヨーロッパ動脈硬化学会(マドリード) May 30, 2014.

104) 葛谷雅文.ランチョンセミナー サルコペニアにおける栄養の重要性.第37回日本基礎老化学会大会(愛知県知多郡東浦町) 2014年6月27日。

105) 青山満喜、鈴木裕介、葛谷雅文：高齢者における「サルコペニア予備軍」と「非サルコペニア群」の運動機能の検討。第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月12日。

106) 伊奈孝一郎、林登志雄、葛谷雅文.糖尿病合併症心血管病危険因子：高血圧有無の年代別解析.第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月13日

107) 伊奈孝一郎、林登志雄、葛谷雅文。糖

尿病罹患患者における脂質異常症の心血管病危険因子としての寄与について—血糖コントロールを中心とした年齢別検討。第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月13日

108) 広瀬貴久、辻典子、井澤幸子、榎裕美、長谷川潤、鈴木裕介、葛谷雅文。要介護高齢者の薬剤服用数の集積と入院、死亡リスクとの関係。第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月13日

109) 柳川まどか、梅垣宏行、牧野多恵子、野々垣禪、中嶋宏貴、一柳知里、鈴木裕介、葛谷雅文。アルツハイマー型認知症およびMCI患者における糖尿病の栄養の検討。第56回日本老年医学会学術集会・総会 福岡市 2014年6月14日

110) 牧野多恵子、梅垣宏行、鈴木裕介、柳川まどか、野々垣禪、中嶋宏貴、葛谷雅文。白質病変・生活習慣病が認知機能の縦断的変化に及ぼす栄養。第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月14日

111) 井澤幸子、広瀬貴久、長谷川潤、榎裕美、葛谷雅文。特別養護老人ホーム入所高齢者の前向き研究—2年間の予後指標としてのMNA-SFの有効性について。第56回日本老年医学会学術集会・総会 福岡市 2014年6月14日

112) 白石成明、鈴木裕介、広瀬貴久、岡田希和子、伊藤ゆい、梅垣宏行、葛谷雅文。地域在住高齢者の身体組成、運動機能、栄養状態、生活機能と1年後の骨格筋量減少との関連に

ついて、第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月14日

113) 葛谷雅文. ランチョンセミナー8. 認知症と転倒・骨折との関係. 第56回日本老年医学会学術集会・総会(福岡市) 2014年6月13日

114) N.Shiraishi, M.Kuzuya, Y.Suzuki, T.Hirose, H.Umegaki, K.Okada, H.Enoki, S.Jeong. Investigation of predictors of decreased skeletal muscle mass in community-dwelling elderly individuals. European Geriatric Medicine (Rotterdam) 2014年9月18日

115) T.Hirose, I.Sachiko, H.Enoki, J.Hasegawa, Y.Suzuki, M.Kuzuya. Accumulation of geriatric conditions is associated with the risk of mortality in dependent older people living in community. European Geriatric Medicine (Rotterdam) 2014年9月18日

116) H.Enoki, T.Hirose, J.Hasegawa, A.Iguchi, M.kuzuya. Impact of anorexia predicts on mortality among community-dwelling dependent Japanese elderly. European Geriatric Medicine (Rotterdam) 2014年9月18日

117) 榎裕美、広瀬貴久、長谷川潤、井澤幸子、井口昭久、葛谷雅文. 在宅療養高齢者における食欲と生命予後との関連について. 第36回日本臨床栄養学会総会 東京都 2014年10月5日

118) 牧野多恵子、梅垣宏行、鈴木裕介、柳川まどか、中嶋宏貴、藤澤知里、葛谷雅文. 抑うつ・アパシーと認知機能の縦断的変化との関連. 第33回日本認知症学会学術集会 横浜市 2014年11月30日

119) 柳川まどか、梅垣宏行、牧野多恵子、中島宏貴、藤澤知里、鈴木裕介、葛谷雅文. アルツハイマー病に対する糖尿病の影響の検討. 第33回日本認知症学会学術集会 横浜市 2014年12月1日

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(資料)

高齢者健診のあり方への提言

目標

要介護とならないための疾患・病態の早期発見

目的疾患

高齢者に多い生活習慣病と高齢者特有の疾患の両方への対応が必要

1. 高齢者に特有の疾患・病態

認知症、軽度認知機能障害(MCI)、抑うつ、身体機能障害、生活能力低下、骨粗鬆症、低栄養、視力障害(白内障)、難聴、尿失禁、転倒

2. 高齢者に多い疾患

高血圧症、脂質異常症、糖尿病、貧血

(痛風、前立性疾患、心疾患、脳卒中、緑内障、胆嚢疾患、がん)

健診項目 介護予防健診と合体して効率的に検査を実施

高齢者に多い疾患だけを主たる目標とした高齢者健診に新たに高齢者特有の疾患の予測・診断に役立つ検査項目を追加する。

1. 後期高齢者医療健康診査の項目

→ 高齢者に多い疾患の予測・診断に重要

身体計測(身長、体重、BMI)、理学的検査(身体診察)

血圧測定

血液尿検査

肝機能検査(GOT、GPT、 γ -GTP)

脂質検査(中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール)

血糖検査(空腹時血糖、HbA1c)

尿検査(尿糖、尿タンパク)

2. 追加項目 体格・栄養・運動・感覚器に関する項目が必要

→ 値が低いことが、高齢者特有の低栄養、フレイル(老化に伴う心身の機能障害)の予測・診断に重要

体脂肪率、腹囲

アルブミン、ヘモグロビン、クレアチニン

握力、歩行テスト(歩行速度)

視力、聴力

3. 問診内容の変更(特定健診と共通からの問診項目から基本チェックリストに)

基本チェックリストだけでは、認知機能、抑うつの評価が不十分

認知症スクリーニング検査(MMSE)抑うつスクリーニング検査(CES-DまたはGDS)

Ⅱ. 研究成果の刊行に 関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
Shimada H, Kato T, Ito K, Makizako H, Doi T, Yoshida D, Shimokata H, Washimi Y, Endo H, Suzuki T	Relationship between atrophy of the medial temporal areas and cognitive Functions in elderly adults with mild cognitive impairment	Eur Neurol	67	168-177	2012
Terabe Y, Harada A, Tokuda H, Okuizumi H, Nagaya M, Shimokata H	Vitamin D Deficiency in Elderly Women in Nursing Homes: Investigation with Consideration of Decreased Activation Function from the Kidneys.	J Am Geriatr Soc	60	251-255	2012
加藤友紀, 大塚礼, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史	地域在住中高年者の微量ミネラルおよびビタミンの摂取量	日本栄養・食糧学会誌	65	21-28	2012
Kozakai R, Ando F, Kim HY, Rantanen T, Shimokata H	Regular exercise history as a predictor of exercise in old age among community-dwelling Japanese older people	J Phys Fitness Sports Med	1	1-8	2012
内田育恵, 杉浦彩子, 中島務, 安藤富士子, 下方浩史	全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率—老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)より	日老医誌	49	222-227	2012
杉浦彩子, 内田育恵, 中島務, 西田裕紀子, 丹下智香子, 安藤富士子, 下方浩史	高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連	日老医誌	49	325-329	2012
丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史	成人後期における日常生活活動能力と主観的幸福感の関連に認知機能が及ぼす影響	日本未病システム学会雑誌	18	68-71	2012
安藤富士子, 今井具子, 加藤友紀, 大塚礼, 松井康素, 竹村真里枝, 下方浩史	血清カロテノイドと2年後の骨粗鬆症／骨量減少発症リスクに及ぼす影響	日本未病システム学会雑誌	18	89-92	2012
Wada-Isoe K, Uemura Y, Nakashita S, Yamawaki M, Tanaka K, Yamamoto M, Shimokata H, and Nakashima K	Prevalence of Dementia and Mild Cognitive Impairment in the Rural Island Town of Ama-cho, Japan	Dement Geriatr Cogn Dis Extra	2	190-199	2012
李成喆, 幸篤武, 森あさか, 丹下智香子, 安藤富士子, 下方浩史	地域在住高齢者の身体活動と認知機能に関する縦断的研究	日本未病システム学会雑誌	18	3-42	2012

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
西田裕紀子, 丹下智香子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史	中高年者の開放性が知能の経時変化に及ぼす影響: 6年間の縦断的検討	発達心理学研究	23	276-286	2012
西田裕紀子, 丹下智香子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史	高齢者の抑うつはその後の知能低下を引き起こすか: 8年間の縦断的検討	老年社会科学	34	371-381	2012
Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H	Divergent significance of bone mineral density changes in aging depending on sites and sex revealed through separate analyses of bone mineral content and area	J Osteoporos	2012	1-6	2012
Yuki A, Lee SY, Kim H, Kozakai R, Ando F, Shimokata H	Relationship between physical activity and brain atrophy progression	Med Sci Sport Exer	44	2362-2368	2012
下方浩史, 安藤富士子	日常生活機能と骨格筋量、筋力との関連	日老会誌	49	195-198	2012
下方浩史, 安藤富士子	認知症の実態と予防の重要性	日本未病システム学会雑誌	18	79-83	2012
Shimokata H, Ando F	Aging-related genotype	Anti-Aging Med	9	185-191	2012
Kawano N, Iwamoto K, Ebe K, Aleksic B, Noda A, Umegaki H, Kuzuya M, Iidaka T, Ozaki N.	Slower adaptation to driving simulator and simulator sickness in older adults.	Aging Clin Exp Res	24(3)	285-289	2012
Umegaki H, Hayashi T, Nomura H, Yanagawa M, Nonogaki Z, Nakashima H, Kuzuya M.	Cognitive dysfunction: An emerging concept of a new diabetic complication in the elderly.	Geriatr Gerontol Int.	13(1)	28-34	2012
Kuzuya M, Izawa S, Enoki H, Hasegawa J.	Day-care service use is a risk factor for long-term care placement in community-dwelling dependent elderly.	Geriatr Gerontol Int.	12(2)	322-9	2012
Umegaki H, Suzuki Y, Yanagawa M, Nonogaki Z, Nakashima H, Kuzuya M, Endo H.	Cognitive impairments and functional declines in older adults at high risk for care needs.	Geriatr Gerontol Int.	13(1)	77-82	2012

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
西谷えみ、高田健人、杉山みち子、三橋美佐子、田中和美、麻植有希子、西本悦子、星野和子、桐谷裕見子、梶井文子、菊谷武、合田敏尚、宮本啓子、高田和子、葛谷雅文。	介護保険施設、病院(療養病床ならびに回復期リハビリテーション病棟)における摂食・嚥下障害を有する高齢者に関する入院・退所(院)時の情報連携の実態に関する研究	日本臨床栄養学会雑誌	34 (1)	10-17	2012
葛谷雅文	OPINION 超高齢社会における虚弱の評価と介入の重要性	日本医事新報	4599	27-31	2012
葛谷雅文	高齢者の熱中症	日本医師会雑誌	141 (2)	294-298	2012
葛谷雅文	栄養アセスメントの重要性とピットホール医師の立場から(慢性期)	静脈経腸栄養	27 (3)	875-877	2012
Lee SC, Yuki A, Nishita Y, Tange C, Kim HY, Kozakai R, Ando F, Shimokata H	The Relationship Between Light Intensity Physical Activity and Cognitive Function in a Community-Dwelling Elderly population - 8 year longitudinal study	J Am Geriat Soc	61(3)	542-453	2013
Suzuki T, Shimada H, Makizako H, Doi T, Yoshida D, Ito K, Shimokata H, Washimi Y, Endo H, Kato T	A randomized controlled trial of multicomponent exercise in older adults with mild cognitive impairment	PLoS One	8(4)	e61483	2013
Hida T, Ishiguro N, Shimokata H, Sakai Y, Matsui Y, Takemura M, Terabe Y, Harada A	High prevalence of sarcopenia and reduced leg muscle mass in Japanese patients immediately after a hip fracture	Geriat Geront Int	13(2)	413-420	2013
Yuki A, Otsuka R, Kozakai R, Kitamura I, Okura T, Ando F, Shimokata H	Relationship between low free testosterone levels and loss of muscle mass	Sci Rep	3	1818	2013
Otsuka R, Kato Y, Imai T, Ando F, Shimokata H	Higher serum EPA or DHA, and lower ARA compositions with age independent of fatty acid intake in Japanese aged 40 to 79	Lipids	48(7)	719-727	2013
幸篤武、森あさか、李成喆、安藤富士子、下方浩史	中高年者の脳萎縮を抑制する日常歩行量の解明～地域からの無作為抽出者を対象とした大規模縦断研究～	デサントスポーツ科学	34	31-39	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
大塚礼、加藤友紀、今井具子、下方浩史、安藤富士子	地域在住中高年男女における性・年齢群別の血清脂肪酸構成比率	日本栄養・食糧学会誌	66(3)	147-153	2013
大塚礼、加藤友紀、今井具子、下方浩史、安藤富士子	地域在住中高年男女における出生コホートの10年間の魚介類およびEPA・DHA摂取量の推移	栄養学雑誌	71(4)	15-25	2013
安藤富士子、大塚礼、幸篤武、北村伊都子、甲田道子、下方浩史	地域在住中高年者のサルコペニア有病率とその10年間の推移	日本未病システム学会雑誌	19(2)	1-6	2013
丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史	成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響	日本未病システム学会雑誌	19(2)	88-92	2013
今井具子、加藤友紀、大塚礼、安藤富士子、下方浩史	中高年者の食事記録データから作成した料理データベースを用いた大学生の栄養素等推定値の有効性	日本未病システム学会雑誌	19(2)	93-97	2013
堀川千賀、大塚礼、加藤友紀、河島洋、柴田浩志、安藤富士子、下方浩史	トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴 ～地域在住の中高年男女における検討～	日本未病システム学会雑誌	19(2)	125-130	2103
Osuga Y, Yoshida M, Ando F, Shimokata H	Prevalence of lower urinary tract symptoms in middle-aged and elderly Japanese	Geriat Geront Int	13(4)	1010-1017	2013
Nishita Y, Tange C, Tomida M, Ando F, Shimokata H	Does high educational level protect against intellectual decline in older adults? : a 10-year longitudinal study	Jpn Psycho Res	55(4)	378-389	2013
Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H	Utility of “loco-check,” self-checklist for “Locomotive Syndrome” as a tool for estimating the physical dysfunction of elderly people	Health	5(12A)	97-102	2013
加藤友紀、大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史	地域在住中高年者のアミノ酸摂取量－食品アミノ酸成分表の新規構築による推定－	栄養学雑誌	71(6)	299-310	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
下方浩史、安藤富士子	検査基準値の考え方ー医学における正常と異常ー	日本老年医学会雑誌	50(2)	168-171	2013
下方浩史、安藤富士子	老化の長期縦断研究からみた高齢期の健康増進の解明	Geriatric Medicine	51(9)	895-899	2013
Fujita M, Cheng XW, Inden Y, Shimano M, Yoshida N, Inoue A, Yamamoto T, Takeshita K, Kyo S, Taguchi N, Shi GP, Kuzuya M, Okumura K, Murohara T.	Mechanisms with clinical implications for atrial fibrillation-associated remodeling: cathepsin K expression, regulation, and therapeutic target and biomarker	J Am Heart Assoc.	2(6)	1-7	2013
Cheng XW, Kikuchi R, Ishii H, Yoshikawa D, Hu L, Takahashi R, Shibata R, Ikeda N, Kuzuya M, Okumura K, Murohara T.	Circulating cathepsin K as a potential novel biomarker of coronary artery disease.	Atherosclerosis.	228(1)	211-6	2013
Shimokata H, Ando F, Yuki A, Otsuka R	Age-related changes in skeletal muscle mass among community-dwelling Japanese - a 12-year longitudinal study	Geriatr Gerontol Int	14(Suppl . 1)	85-92	2014
西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史	高齢者における知能と抑うつとの相互関係：交差遅延効果モデルによる検討	発達心理学研究	25(1)	76-86	2014
Otsuka R, Tange C, Nishita Y, Kato Y, Imai T, Ando F, Shimokata H	Serum docosahexaenoic and eicosapentaenoic acid and risk of cognitive decline over 10 years among elderly Japanese	Eur J Clin Nutr	68	503-509	2014
Kitamura I, Koda M, Otsuka R, Ando F, Shimokata H	Six-year longitudinal changes in body composition of middle-aged and elderly Japanese: Age and sex differences in appendicular skeletal muscle mass	Geriatr Gerontol Int	14(2)	354-361	2014
加藤友紀、大塚礼、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史	地域在住中高年者のプロリン摂取量が知能に及ぼす影響に関する縦断的研究	日本未病システム学会雑誌	20(1)	99-104	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
松井康素、竹村真里枝、 原田敦、幸篤武、加藤友 紀、大塚礼、安藤富士 子、下方浩史	膝関節の変形及び痛みと身体組成の関連	Osteoporosis Japan	22(3)	71-74	2014
Yoshimura N, Akune T, Fujiwara S, Shimizu Y, Yoshida H, Omori G, Sudo A, Nishiwaki Y, Yoshida M, Shimokata H, Suzuki T, Muraki S, Oka H, Nakamura K.	Prevalence of knee pain, lumbar pain and its co-existence in Japanese men and women: The LOCOMO (Longitudinal Cohorts of Motor System Organ) study.	J Bone Miner Metab	32(5)	524-532	2014
Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H	:Effects of knee extensor muscle strength on the incidence of osteopenia and osteoporosis after 6 years	J Bone Miner Metab	32(5)	550-555	2014
Otsuka R, Kato Y, Nishita Y, Tange C, Nakamoto M, Tomida M, Imai T, Ando F, Shimokata H	Cereal intake increases and dairy products decrease risk of cognitive decline among elderly female Japanese	J Prev Alz Dis	1(3)	160-167	2014
幸篤武、安藤富士子、下 方浩史	サルコペニアの診断と評価	臨床栄養	124(3)	279-285	2014
幸篤武、下方浩史	地域在住高齢者におけるサルコペニアの 実態	医学のあゆ み	248(9)	649-654	2014
下方浩史	虚弱の危険因子	Medical Rehabilitatio n	170	121-125	2014
下方浩史	フレイルの危険因子、高齢者におけるリハ ビリテーションの阻害因子とそれに対する 一般的対応	Geriatric Medicine	52(5)	593-596	2014
下方浩史	ロコモティブシンドロームとサルコペニア	日本抗加齢 医学会雑誌	10(3)	347-353	2014
下方浩史	高齢者糖尿病検査データの見方	糖尿病診療 マスター	12(5)	556-560	2014
杉浦彩子、内田育恵、中 島務、下方浩史	難聴と認知症	Geriatric Medicine	52(7)	781-784	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
安藤富士子、西田裕紀子、下方浩史	喫煙が知能・認知機能に及ぼす影響と抗酸化食品の可能性	Geriatric Medicine	52(7)	793-796	2014
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	サルコペニアの概念と診断基準	CLINICAL CALCIUM	24(10)	1441-1448	2014
下方浩史	健康長寿と食生活、飲酒	日本医師会雑誌	143(8)	1728-1734	2014
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	サルコペニアの疫学II	最新医学	70(1)	37-43	2015
Ina K, Hayashi T, Araki A, Kawashima S, Sone H, Watanabe H, Ohru T, Yokote K, Takemoto M, Kubota K, Noda M, Noto H, Ding QF, Zhang J, Yu ZY, Yoon BK, Nomura H, Kuzuya M	Importance of high-density lipoprotein cholesterol levels in elderly diabetic individuals with type IIb dyslipidemia: A 2-year survey of cardiovascular events.	Geriatr Gerontol Int	14(4)	806-810	2014
Makino T, Umegaki H, Suzuki Y, Yanagawa M, Nonogaki Z, Nakashima H, Kuzuya M	Relationship between small cerebral white matter lesions and cognitive function in patients with Alzheimer's disease and amnesic mild cognitive impairment	Geriatr Gerontol Int	14(4)	819-826	2014
Izawa S, Enoki H, Hasegawa J, Hirose T, Kuzuya M	Factors associated with deterioration of mini nutritional assessment-short form status of nursing home residents during a 2-year period	J Nutr Health Aging	18(4)	372-377	2014
葛谷雅文	サルコペニア肥満	日医雑誌	143(1)	72	2014
葛谷雅文	高齢者における低栄養とその対策	學士會会報	906(2014-III)	76-81	2014
葛谷雅文	サルコペニアと栄養	化学と生物	52(5)	328-330	2014
葛谷雅文	予防医療の一環としての高齢者栄養療法の視点	内科	115(1)	99-102	2015
Yoshimura N, Akune T, Fujiwara S, Shimizu Y, Yoshida H, Nishiwaki Y, Sudo A, Omori G, Yoshida M, Shimokata H, Suzuki T, Muraki S, Oka H, Nakamura K	Incidence of disability and its associated factors in Japanese men and women: The Longitudinal Cohorts of Motor System Organ (LOCOMO) study	J Bone Miner Metab			印刷中

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻数	ページ	出版年
Yuki A, Ando F, Otsuka R, Shiomokata H	Low free testosterone is associated with loss of appendicular muscle mass in Japanese community-dwelling women	Geriatr Gerontol Int			印刷中
Kasai T, Ishiguro N, Matsui Y, Harada A, Takemura M, Yuki A, Otsuka R, Ando F, Shimokata H	Sex- and age-related differences in mid-thigh composition and muscle quality determined by computed tomography in middle-aged and elderly Japanese	Geriatr Gerontol Int			印刷中
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	サルコペニアの概念、評価とその意義。CKDにおけるサルコペニア・フレイル対策	臨床透析			印刷中
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	地域在住高齢者におけるサルコペニアの実態	医学のあゆみ			印刷中
下方浩史、安藤富士子、大塚礼	国立長寿医療研究センター・老化に関する長期縦断研究(NILS-LSA)	医学のあゆみ			印刷中
Yuki A, Ando F, Matsui Y, Harada A, Shimokata H	The epidemiology of sarcopenia among the Japanese elderly	J Physic Fitness Sports Med			印刷中
大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史	地域在住高齢者における短鎖および中鎖脂肪酸摂取が8年間の認知機能得点低下に及ぼす影響	日本栄養・食糧学会誌			印刷中

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
下方浩史	栄養疫学	沖増 哲、前大道教子、松原知子(編)	ウエルネス公衆栄養学改訂第9版	医歯薬出版	東京	2012	103-124
葛谷雅文	サルコペニアの原因 ① 加齢	若林秀隆、藤本篤士	サルコペニアの摂取・嚥下障害	医歯薬出版	東京	2012	20-23
葛谷雅文	骨格筋減少(サルコペニア)	雨海照祥	薬物—飲食物 相互作用 的確な栄養療法のために	医歯薬出版	東京	2012	26-29
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	わが国におけるサルコペニアの診断と実態—日本人における診断	葛谷雅文、雨海照祥編	サルコペニア—その成因と栄養・運動	医歯薬出版	東京	2013	35-40
加藤友紀、安藤富士子、下方浩史	分岐鎖アミノ酸(BCAA)によるサルコペニアの予防・改善の可能性	葛谷雅文、雨海照祥編	サルコペニア—その成因と栄養・運動	医歯薬出版	東京	2013	116-121
下方浩史	高齢期における生活習慣病の予防—喫煙と飲酒	長寿科学健康財団	Advances in Aging and Health Research 2013 高齢期における生活習慣病	長寿科学健康財団	愛知	2013	159-167
下方浩史	栄養疫学	前大道教子、松原知子	ウエルネス公衆栄養学 2014年版	医歯薬出版株式会社	東京	2014	104-124
下方浩史	地域在住高齢者における要介護化の危険因子	長寿科学健康財団	Advances in Aging and Health Research 2014長寿科学研究業績集	長寿科学健康財団	愛知	2014	125-135
幸篤武、安藤富士子、下方浩史	サルコペニアの有症率と危険因子	島田裕之編	サルコペニアの運動療法—エビデンスと実践	医歯薬出版	東京	2014	16-22
下方浩史	死因と病因の現状と課題	日本介護福祉学会事典編纂委員会	介護福祉学事典	ミネルヴァ書房	東京	2014	696-697